

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市長賞

静岡市立竜南小学校 4年 大野 旭陽

「ぼくは天使」

天使ってだれだよ。  
ぼくは、ちがうぞ  
だって  
すぐ「いやだ」っていうし、  
かたづけ 苦手だし  
友だちのけんか、うまくとめら  
れないし、  
父ちゃんのとうもろこし  
食べちゃったし。  
だけど、  
母ちゃんがわらって言った。  
「生まれた時、周りのみんな  
天使が来てくれたって  
よろこんだよ」  
なんだそれ。こまったな。  
信じられないけど  
ぼくって 天使だったんだ。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市議会議長賞

静岡市立長田南小学校 6年 村松 泰我

「お母さんの料理」

お母さんの料理  
「卵のからが入ってる。」  
急いで作ると入っちゃうらしい。  
お母さんの料理  
「はしが三本ならんでる」  
うっかりしてしまうらしい。  
お母さんの料理  
「作った料理を落とす」  
三秒ルールだからいいらしい。  
お母さんの料理  
「肉をこがす」  
ついテレビを見てしまうらしい。

うっかり屋のお母さんだけど、ぼくのために毎日作ってくれます。

「いつもありがとう。」

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆教育長賞

静岡市立竜爪中学校 2年 宮本 和征

[素直に]

「あれ？」と母が言う。  
「あれ？」と思わずボクもつぶやく。  
「でかっ！」と母が言う。  
「ちっちゃ！」と僕が笑う。  
いつのまにか、母よりも身長が高くなっている。目線は母より上だけど、なかなか頭が上がらない。  
「大きくなるのは身体だけ」と僕を馬鹿にする母。でも、そんな成長する僕を見る母は、いつもうれしそうだ。  
最近、なかなか素直に言えない。言いたくないわけでもないし、どちらかといえば伝えたい。  
照れくさいけど、またあの笑顔を見たい。だから言わせて。  
「ありがとう。」

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆校長会会長賞

静岡市立千代田小学校 4年 望月 楓

私が「ただいま」というだけで  
学校でいいことがあったのか、い  
やなことがあったのかわかつちや  
う。お兄ちゃんが勉強をやるといっ  
てこっそりマンガを読んでいるの  
もわかつちやう。

どうして分かるの？ってきくと  
十二年お母さんやっているからだ  
よといっていた。

それなら来年はもっといろいろ  
わかつちやうのかな。

すごいねお母さん。

# 平成25年「天使からのポエム」

## 受賞作品

### 1. 特別賞受賞作品

#### ◆市P連会長賞

静岡市立竜爪中学校 2年 石田 大史

母さんはうるさい。とてもうる  
さい。イヤになるくらい。  
母さんはしつこい。とてもしつ  
こい。イヤになるくらい。  
母さんはめんどくさい。とても  
めんどくさい。イヤになるくらい。  
でも 母さんは料理が上手い、  
ここだけはめっちゃ好き。  
母さんは、うるさいし、しつこ  
いし、めんどくさい。  
でも、いつもなんだかんだで、  
ありがとうって思う。でも、あり  
がとうって言うのははずかしい。  
だから、ご飯の時ぐらい、最高の  
感謝の気持ちをこめて、一言、  
「ごちそうさまでした。」

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

静岡市立服織西小学校 4年 清水 大河

### 「じいじの笑顔」

ぼくのじいじはたたかった  
白血病とたたかった  
こわいこわい病気だそう

それなのに  
おみまい行くと  
にこにこと  
いつも笑いかけてくれ  
もうすぐ帰ると  
言ってくれ  
ぼくを元気にしてくれた

じいじの体は空に消え  
笑顔だけが家に着く

笑顔は今もぼく達を  
やさしくつつみ見守って  
いつまでたっても温かい

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

静岡市立安西小学校 4年 石田 千夏

「私のすんごいひいおじいちゃん」

私のすんごいひいおじいちゃん  
もうすぐ百才にもなるのに。  
畑もやっている。  
こまかい字の本だって読む。  
坂本りょう馬の本を読む

私のすんごいひいおじいちゃん  
一人でとことこ歩けます  
ろう人ホームもいかないで、一  
人でのんびりくらしてます。  
私がいくと、  
「よいよいアハハ。」  
と笑ってくれる。

私のすんごいひいおじいちゃん  
いつまでも長生きしてほしい。  
ずっと笑顔でいてほしい。  
ずっと大声で笑ってほしい。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

静岡市立東豊田小学校 4年 辻 虎哲

「おじいちゃん」

ぼくが生まれる前に  
死んじゃったおじいちゃん。  
写真でしか見たことないけど  
やさしそうにわらってる。

お化けでもいいから  
あってみたいと思うけれど  
やっぱり  
お化けはこわいから  
今年もたくさんお花を持って  
おはかまいりに行こう。  
そして  
「苦手なプールがんばったよ。」  
って、  
話したいなあ。



平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

静岡市立清水高部東小学校 4年 嵐 美聡

「ママのニュニュ」

お母さんのにのうではおもちみた  
いできもちいい

一しよにねる時ニュニュつてする  
と

今日あったことを全部はなせちゃ  
う

「もう赤ちゃんじゃないでしょ。」  
ていいながらとなりでねてくれて  
ありがとう

赤ちゃんみたいかな  
赤ちゃんでいたいな

にのうでなんてよばないよ

赤ちゃんの時から「ニュニュ」だ  
よ

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

静岡県立横内小学校 6年 漆畑 さんご

### 「母の明るさ」

私の母は、お皿を割っても笑いとばす。

白が増えても笑いとばす。

お金がなくても笑いとばす。  
なんでも笑いとばす。

母が笑いとばすと、みんなも笑う

母の周りの人が明るくなってゆく。  
だから、私達の家は  
いつも明るい。  
周りを明るくする母は  
すごいなー。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

静岡市立竜南小学校 6年 平出 有紀

### 「お母さんのタッチ」

パーンと  
お母さんは  
毎日学校に行く時  
タッチしてくれるよね  
とってもうれしいよ

つかれていて  
いらいらして  
学校めんどくさいと  
思う時も  
お母さんがタッチしてくれると  
今日もがんばろう  
学校に行こう  
と思えるんだ

今日も明日も  
ずっと毎日  
タッチをしてね。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

静岡市立中藁科小学校 6年 森田 琢海

「おとうさんのにおい」

おとうさんは、  
いつも変なにおいがする。  
その変なにおいは、  
毎日毎日いつも同じ変なにおい

ものすご〜くおこっている時も  
ものすご〜くやさしい時も  
いっしょにあそんでくれる時も  
いつも同じにおいがする

変なにおいだけど  
なぜか安心する  
いつまでもいつまでも  
その変なにおいでいてね。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

静岡市立西豊田小学校 6年 長谷川 寛汰

お母さんにおこられた時  
ぼくがおふろに入っていると  
決まってお父さんが入ってくる

ぼくがソフトでエラーした時  
ぼくがおふろに入っていると  
決まってお父さんが入ってくる

ぼくがお父さんとけんかした時  
ぼくがおふろに入っていると  
決まってお父さんが入ってくる

そして笑いながら  
自分のことをベラベラ  
しゃべりだす。

でもそんなお父さんが  
大好き

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

静岡市立中島中学校 2年 山崎 若葉

### 「近所の人」

朝でも夕方でも夜でも  
私を見かけたら声をかけてくれる  
幼稚園の頃から知ってる  
近所の人

小学生でランドセルになった  
高学年で敬語になった  
中学生で制服になった  
最近は帰りが遅くなった  
私は昔とかわって大きくなった

だけど近所の人にはかわらない  
今日も私におはよう  
きっと明日もかわらない  
優しい挨拶。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

静岡市立中島中学校 2年 関 日向

「きれいなグローブ」

試合で汚れたグローブ  
その日の夜  
手入れをしてくれた  
きれいになったグローブ  
輝いているグローブを見て思う

ありがとう  
感謝してます  
良いプレーができますように  
明日の試合、勝つぞ～

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

静岡市立清水第五中学校 2年 岩本 諒

### 「大切な人」

生きてくれてありがとう  
本当によかった  
きせきが起きたんだ  
毎日毎日僕は祈った  
長い長い闘病生活  
一日、二日、一週間、一ヶ月、半  
年  
もうしゃべらないと思った  
食べられないと思った  
歩けないと思った  
おばあちゃん、がんばったね  
生きてくれてありがとう  
帰ってきてくれてありがとう



平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

静岡市立清水庵原中学校 2年 鈴木 茉莉花

「父へ」

暑さに負けない  
夏の父  
寒さに負けない  
冬の父  
つかれに負けない  
働く父  
つかれても  
つかれても  
仕事に行き  
帰ってくる  
つかれても  
つかれても  
休みの日には  
遊んでくれる  
感謝の気持ちを  
伝えたい  
つかれをとりさる  
薬になりたい

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立安東小学校 4年 芦川 未空

#### 「家のスーパーじいじ」

朝だれよりも早くおきて、みんなのためにおいしいおみそしるを作ってくれる  
スーパーじいじ

ひまわり・プチトマト・ゴーヤ  
こけ玉を、かれさせないように水をあげたり、大きく育つようにぼうをたてたり、ひりょうをかえたりしてくれる  
スーパーじいじ

わたしのそばにいてくれないとこまる大切な  
スーパーじいじ

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立西奈小学校 4年 上西 蒼生

まま、

ぼく、勉強がんばるよ。

ぼく、いっぱいめいわくかけて  
るから。

ぼく、えらくなるよ。

おかねいっぱいかせいで、

ままにマッサージキ買ってあげる。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡県立服織小学校 4年 久保田 はな

お父さん  
会社なんてやめちゃえばいいのに。  
そしたら私ともっと遊べるじゃん  
お母さん  
私たちの世話なんかやかなくて  
いいよ。  
そしたら毎日ニコニコしていら  
れるじゃん。  
でも、お父さんとお母さんがは  
たらいてくれるから私はいつも  
わらっていられるんだね。  
いつもありがとうございます。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立長田東小学校 4年 小木曾 千晴

#### 「お母さんの顔」

あ、わらった  
あ、おこった  
コロコロかわるお母さんの顔

ニコニコしているお母さんは  
天使  
プンプンしているお母さんは  
オニ

どんな顔をしていても大好きなお母  
さん  
プンプンお母さんより  
ニコニコお母さんがたくさん見ら  
れるように  
がんばろう

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立清水有度第二小学校 4年 佐藤 雅俊

「手」

おばあちゃんの家へ行く  
手をつないで買いものへ行く  
けっこうしわしわになってきたお  
ばあちゃんの手  
おれはこの手が大好きなんだ  
悲しい事があった時、いやな事が  
あった時、この手をつないでい  
ると忘れちゃうんだ  
うれしい事があった時は何倍をう  
れしくなるんだ  
だからずっとこの手をつないでい  
られるようおばあちゃん、長生  
きして。  
おれが大きくなったら今度はおれ  
が手をつないでいろんな所へ連  
れて行ってあげるから  
約束だよ

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立清水高部東小学校 4年 庄司 匠真

「まほうつかいのお母さん」

ぼくのお母さんは、まほうが使える。  
あつという間に、すごくおいしいごはんを作ってくれる。  
どろまみれのユニホームを、真っ白にしてくれる。  
おなかがいたい時、さすってもらうとすぐ治る。  
話を聞いてもらうと、心がスッキリする。  
おこると、ま女みたいな顔になる。  
でも、お母さんの  
「だいじょうぶだよ。」  
と、いう一言で元気が出る  
やっぱりぼくのお母さんはまほう使いだ。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立井宮小学校 6年 柴田 杏未

#### 「おじいちゃんからのメッセージ」

つくえを整理してるときに、亡くなったおじいちゃんの手紙がでてきた。

「あみちゃんの笑顔が一番だよ。」という内容の手紙ばかりだった。

おじいちゃんも、いつも笑顔で楽しい話をたくさんしてくれた。

おじいちゃんが亡くなる時、私は泣くのをがまんして、「ありがとう」の気持ちをたくさん伝えた。

大切な人と過ごす時間は永遠ではないことにも気づいた。

でも、おじいちゃんからのメッセージは、

いつも私の心に届いている。



平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立城北小学校 6年 金 優瑛

「なんとかなるよ。」

「なんとかなるよ。」  
お母さんがよく口にする言葉  
私が困っていたり、次の日のこ  
とを心配していると、  
「なんとかなるよ」  
と言って、ちょっと笑う  
なんとかなるわけないと思って  
いても  
なんとかなってしまう  
「なんとかなるよね。」  
自分でつぶやくと、  
とっても気が楽になる

「なんとかなるよ。」  
私にとっては、お母さん伝承の  
すごい言葉  
教えてくれて  
ありがとう

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立北沼上小学校 6年 鈴木 皓大

#### 「二種類のたまご焼き」

たまご焼き二種類作って  
と言ったら  
「何時に起きると思ってるの」  
と言われた  
悲しすぎるだろと思った

朝起きるとお母さんが  
二種類のたまご焼きを作っていた

お弁当の時間が待ち遠しかった

弁当箱を開けて  
あまいたまご焼きを先に  
ねぎときのこのたまご焼きを後で  
食べた

お母さんありがとう  
とてもおいしかった

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立東豊田小学校 6年 荒井 瑞紀

「母さんありがとう」

お母さんは、どんな日も野球の  
応援にきてくれる。どんなに朝  
早くても応援にきてくれる。

お母さんは、試合のあと必ずが  
んばったねって言うってくれる。た  
くさんほめてくれる。

お母さんは、試合から帰ってく  
るとぐったりしている

ぼくのために、がんばってくれ  
ているお母さん。

でも、ありがとうなんてはずか  
しくて言えないよ。

ぼくは、ありがとうのかわりに  
そっとかたをもんだ。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡県立大里中学校 2年 小金澤 侑可

怒っているお母さんも、  
叱ってくれるお母さんも、  
泣いているお母さんも、  
笑っているお母さんも、  
全部、私だけのお母さんで、  
一生愛し続けてくれる人。

伝わってる。伝わってる？  
私だって、お母さんのこと、  
大好きなんだよ。

何歳になっても、  
いつまでも、  
私のお母さん。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立大里中学校 2年 千原 瞳

#### 「お父さんの手」

小さいころからお父さんの手は私の手のものだった。  
大きくてあたたかい手は私の小さい手をすっぽりつつんでひっぱってくれた。  
その手でひっぱたかれたことや、ほほをつままれたこともあるけど私はお父さんの手が好きだった。

数年して、お父さんと手をつなぐことはなくなっていった。  
でもある夜の並んで歩いたときお父さんの手をこっそりにぎってみた。  
やっぱり私より大きくてあたたかい手のままだった。  
またお父さんと一緒に、手をつないで並んで歩けたらいいな。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立高松中学校 2年 鈴木 裕真

「うるさい母さん」

ねえ母さん  
何でそんなにうるさいの？  
なんでこのタイミング？  
やろうと思ってたのに  
やる気失くしちゃうよ  
でもね  
僕分かったよ  
ほっとけばいいのに  
ほっとかないのは  
僕を想っているから  
でもね  
信じて欲しい  
今はこんな僕だけど  
必ず変わってみせるから

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立長田南中学校 2年 鷺巣 萌

「お母さんには勝てない」

おかあさん。  
最近、目線が高くなったよ。  
私、成長したでしょ？  
それと同時に反抗期にも  
なってきちゃった。  
いつもいつも反ぱつしちやって、  
迷惑しかかけてないよね。  
本当にごめんなさい。  
「ごめんなさい。」よりも、  
「ありがとう。」のほうがいいね。

おいしいごはんを  
ありがとう。  
こんな私を育てて下さって  
ありがとう。

目線の高さは勝っていても、  
心の目の高さでは勝てません。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

静岡市立清水第五中学校 2年 豊田 寛斗

#### 「今日の天気」

今にもふりそうな雲行き、  
お母さんの意見に大反対、  
それを説得お母さん、  
負けぬ、負けぬ、  
負けぬかとぼく、  
ついに、お怒り雷が、  
降参、まいったとぼく、  
今日も逆転、母大勝利、  
もう空は、大快晴、  
やっぱりお母さんには、  
勝てないや。



平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立千代田小学校 4年 堀岡 舞

##### 「まほうの目」

お母さんのまほうの目  
ときどきイタズラをすると  
すぐに見つかる。

ようち園児の時に聞いた。  
「お母さんには、まほうの目が  
後ろにもついているのよ。」って。  
今ではそんなのうそに決まってる  
ことぐらい分かる。

でも、やっぱりイタズラをすると、  
すぐに見つかる。  
そしてなぜか私には、  
小さなバチがあたる。  
お母さんは、私の行動が  
すぐに分かるのかな？

やっぱりお母さんってすごいな。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立中田小学校 4年 河村 菜摘

「なんでだろう」

夕ごはんを食べる時  
ママの大好物がでたよ  
なのにママはそれをくれた  
なんでだろう

ベッドに入る時  
ママはまだしごとがある  
なのにママはお話よんでくれた  
なんでだろう

お風呂に入る時  
早いものがちで入るルール  
なのにママはゆずってくれた  
なんでだろう

ママはなんでもゆずってくれる  
こんどは私がゆずりたいな

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡県立清水有度第一小学校 4年 浅見 怜音

##### 「お母さんのえ顔」

お母さんは、よくおこる。  
よくわらう。  
そのわらった顔をみると、  
心がおちつく。  
うれしくなる。  
悲しい時でもえ顔になれる。  
お母さんのわらった顔には、  
まほうがかかっている。  
お母さん、  
わたしはいつでもお母さんが、  
大好きだよ。  
わたしもそんなお母さんに、  
なりたいな。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡県立清水小学校 4年 加藤 蒨愛

##### 「世界中のたからもの」

世界中のたからもの。  
それは、家族。  
お父さんは、地球。  
生きていくために大事な地球。  
お母さんは、星。  
いつでもどこでもかがやいている星。  
にいには、月。  
とっても、やさいしから月。  
そして、私は、太陽。  
いつでもニコニコしていて、あ  
ったかいから太陽。  
これがたからもの。  
いっつもいっしょのたからもの。  
世界中の一番のたからもの。  
わたしだけのたからもの。  
とっても大事なたからもの。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立安倍口小学校 6年 海野 桃菜

「お母さんに感謝」

学校へ行く私の姿  
いつまでも見おくってくれる

「忘れ物ない？」  
私が出かける時の  
お母さんの口ぐせ  
もうわかっているよ  
自分でちゃんと仕度できるのに  
それでも何度も聞いてくる  
きっといっぱい  
心配しているんだよね  
今日帰ったら  
お母さんに何話そうか

おかえりのお母さんの声  
ホッとすると  
いつも安心して  
帰ってこれることに感謝

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立大里西小学校 6年 山崎 葵斗

##### 「ぼくのお父さん」

パソコンから風を切る音が聞こえてくる。

バンクというとても急な坂になっている所を時速六十キロぐらいではしっているお父さん。

ぼくのお父さんは、競輪選手。

転ろんだら大けがするのを分かっているけど、その危険をおそれずぼくたちのためにがんばっている。

「カッコイイなー」

と、ぼくはいつも思う。

家族は、競輪場に見に行けないから仕事しているお父さんを見るのはいつもパソコン。

一度見てみたいなあ。

お父さんぼくたちのためにがんばってくれて、ありがとう。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立長田南小学校 6年 高下 紗季

##### 「感謝」

どんな時もずっと笑顔で  
時にはきびしくおこって  
とっても楽しい毎日

でも急に入院しちゃった日  
すごくさびしくて  
一人でこっそり泣いた  
お母さんかない毎日は  
いつもより少し大変だったな  
でもそのとき初めて  
お母さんに本当の感謝の気持ちを  
改めて実感したよ

それからの毎日は  
兄弟みんなでたくさんの手伝い  
いつも迷わくかけてごめんなさい  
そしていつもありがとう  
これからもずっと一緒にいてね

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立由比小学校 6年 豊島 奏

##### 「たたみの上の母とは」

私が本を読むときに、母がたたみの向こうで洗たく物をたたんでいます。本から顔を上げなくとも、母の存在は石けんの香りと共に確かにたたみの上にあることを、私は感じています。私と母は、目に見えぬ温かい空気につながっているのです。

私が、大人から想われていると感じるとき、そのような目に見えない空気を、自分と相手の間に感じます。ホッとする、包まれるような、心の奥で感じとる空気の流れを、私は最近初めて確かにつかむことができました。初めて会う人からは感じにくいその空気を、私は日々、たたみの上で母から感じています。



平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立東中学校 2年 安田 翔

「ありがとう」

お母さん、ぼくが生まれたとき  
こう言ってたよね。  
「どんな高い宝石をもらうよりも  
うれしかった。」あとでそう聞いた  
ときぼくはとてもうれしかったよ。  
いまはまだ、言葉に表わせない  
けど、一言でいうなら「ありがとう。」

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立東中学校 2年 手島 真結

ありがとう  
このたった5文字が言えないんだ  
だって恥ずかしいし  
たぶん言いたくないんだ  
だから言えない

もっと素直になりたいな  
きっとそのうちなれるかな

「ありがとうお母さん」

あなたの子供でよかったと  
あなたに伝えたい

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立梅ヶ島中学校 2年 望月 藍奈

##### 「優しい手」

昔の写真を見ていたら  
小さい私と、私をうでに抱く母の  
姿があった  
私は母の手が好きだ  
特に大きいわけでもないけど  
なんだか温かいような  
そんな落ち着く母の手が大好き  
学校で失敗したとき  
兄とけんかしたとき  
そんなとき私の頭をそつとなで  
くれてありがとう  
まだまだお母さんに甘えてしまう  
かもしれないけど頑張るね

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立大里中学校 2年 鈴木 洋輝

「宇宙のように」

家族って宇宙なんだ

母は太陽のように  
温かく見守ってくれる  
優しい手を  
さしのべてくれる

父は月のように  
ほのかな光で  
正しい道を開いてくれる  
静かな眼差しで  
背中を押してくれる

自分は地球のように  
新たな未来を創っていく

自分はこの宇宙で  
今日もこうして生きている

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立清水第三中学校 2年 白井 瑞希

朝の五時、「いくぞ」の声で目が  
覚める  
父と私の秘密のドライブ  
誰もいない山道、潮の香りのする  
道をスピードを上げて走っていく  
朝がこんなに気持ち良いなんて、  
初めて知ったよ  
午後三時、私の食べるおかしを横  
どりするからムキになって大ゲン  
カ  
まったく子供なんだから・・・・  
ああそうか、子供の心を忘れてな  
いのか  
いつも同じ目線で接っしてくれる  
そんな父が私は大好き  
次の秘密のドライブはどこに行く  
のかな？

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立清水第六中学校 2年 伊東 愛歩

お父さんが退院したのは午前中。  
お母さんのお許しの中遊んだのは  
午後。疲れてフラフラなのに、  
「俺が車を運転する。」  
お母さんはもちろん許さない。

お父さんに、  
「しばらく、ママにまかせればい  
いのに。」  
って言ったら、  
「俺は、みんなの命を守りたいん  
だ。」  
って。

パパはいつもそんなことを考えて  
運転していたんだね。  
でも今は、回復に努めてください。  
いつも、ありがとう。

平成25年「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

静岡市立清水第八中学校 2年 大石 芽依

「お母さんって」

お母さんって  
なんだか温かい。  
私が疲れて帰ってくると  
「お疲れさま」って  
迎えてくれる。  
それだけなのに  
なんだかほっとする。  
お母さんに抱きしめられると  
もう中学生なのにとって  
思うけど  
あったかくて  
きもちよくてほっとする。  
私はきっと  
大人になっても  
子どもじゃなくなっても  
お母さんの子どもなんだなっ  
思うんだ。